

GLOBAL OUTLOOK

ロータリアンのための新しい財団補助金入門

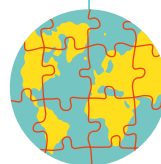


3 種類の 補助金 1 つの ビジョン

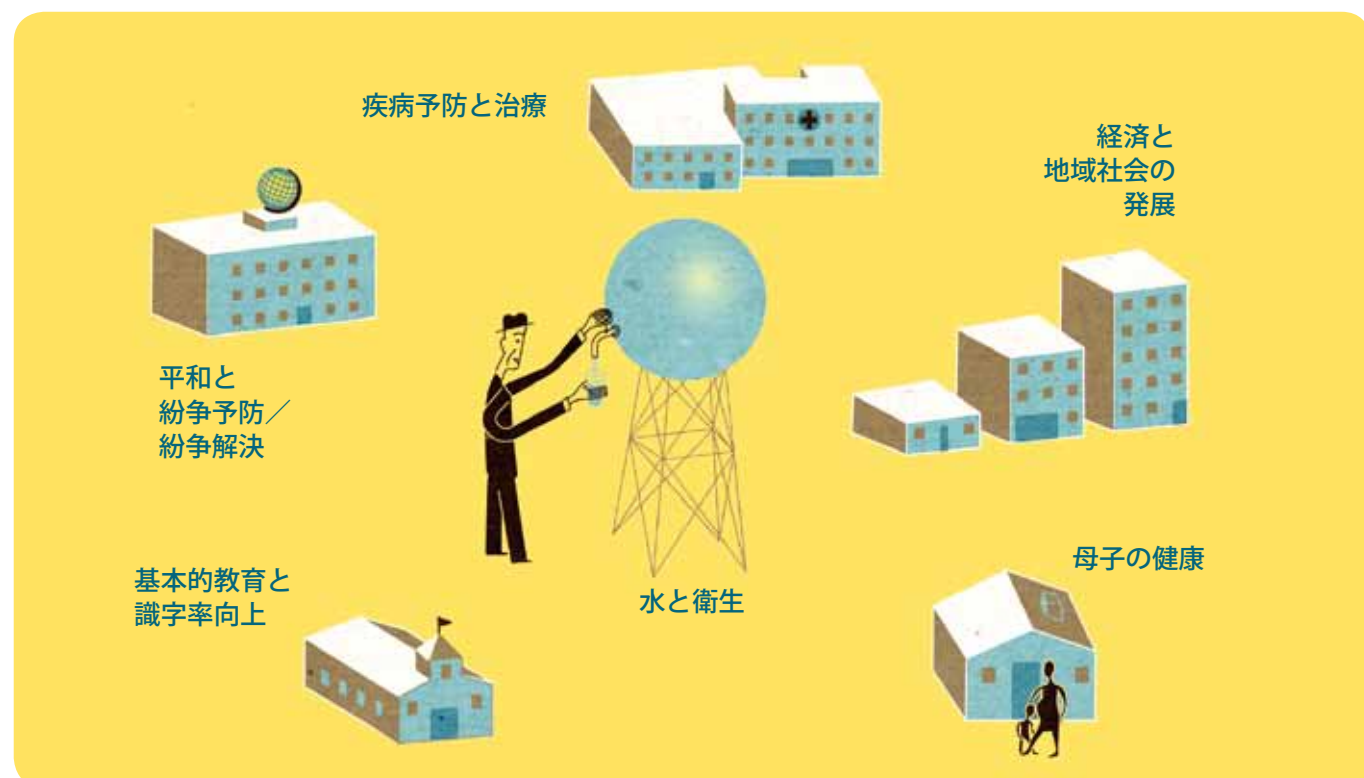
2013 年 7 月 1 日、ロータリー財団は全ロータリー地区に新しい補助金モデル「**未来の夢**」を導入します。未来の夢では、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修といった、従来からの主な奉仕の機会が残される一方で、この**新モデル**によってプログラムが簡素化され、クラブと地区が**より持続可能性の高い**プロジェクトを実施できるようになります。これまでは、大規模で影響力の高い活動に充てられた財団の補助金は、プログラムの年次予算の **20%** にすぎませんでした。未来の夢では、この割合を 80% に高めることを目標としています。この変更は、ロータリーが**国際開発**や人道的奉仕における**リーダー**となることを促進します。新しい補助金モデルでは、ポリオ・プラスとロータリー平和フェローシップを除き、これまで 12 種類あった補助金が **3 種類**になります。以下に、未来の夢がもたらす新しい可能性についてご紹介します。

一目でわかる新補助金

	新地区補助金	グローバル補助金	パッケージ・グラント
資金調達	地区の申請に基づき、DDF（地区財団活動資金）の50%までが年に1度一括で支払われる。	WF（国際財団活動資金）から最低1万5,000ドルが上乗せされ、総額最低3万ドルがプロジェクト費用となる。	WFと戦略パートナーから全額が支払われ、参加クラブや地区が寄付する必要はない。
プロジェクトの種類	財団の使命に沿った地元や海外（またはその両方）での活動のために、地区が補助金の配分を決定する。	プロジェクトは、重点分野のうち少なくとも1つに該当し、大きな成果を残し、海外のロータリークラブと協同で実施される。	プロジェクトや活動は、財団と戦略パートナーがあらかじめ立案。ロータリアンはプロジェクトの実施だけに集中できる。
プロジェクトの期間	比較的短期	長期、持続可能な成果	戦略パートナーとの協力の下、長期、持続可能な成果



ロータリーの重点分野



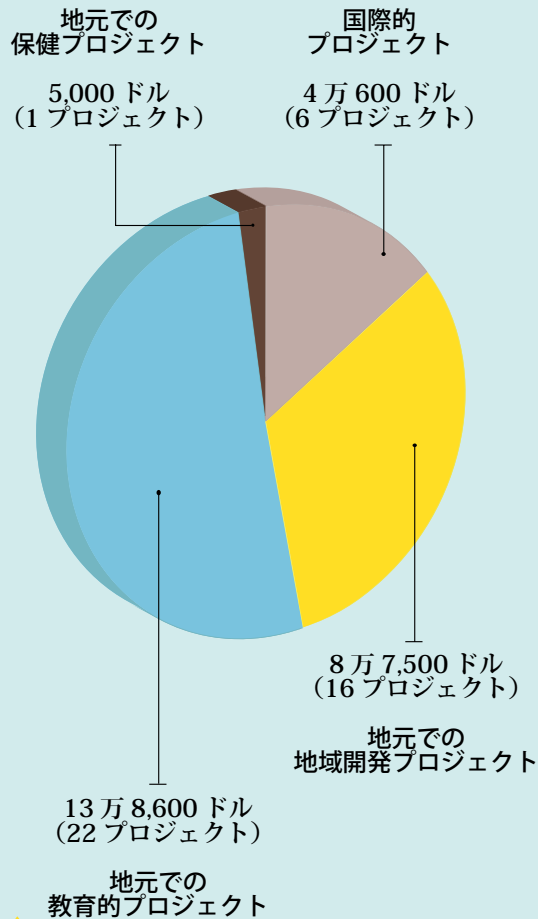
新地区補助金

地区は、年に一度、DDF（地区財団活動資金）の50%までを一括で新地区補助金に申請し、財団の使命を支えるクラブや地区のプロジェクトに配分することができます。この補助金は地元や海外で、比較的短期間のプロジェクトに利用できます。

プロジェクトの例

- ・第4420地区（ブラジル）は、ブラジルのペルイベにある自治体が管理する牛乳貯蔵庫に貯蔵されている牛乳を殺菌するための加圧滅菌器を購入。
- ・第5360地区（カナダ、アルバータ州とサスカチワン州の一部）は、地元の高校卒業生に、大学進学のための奨学金を授与。
- ・イタリアとベネズエラの地区は、従来の研究グループ交換（GSE）と類似した、音楽家のための文化交流を実施。
- ・第1860地区（ドイツ）は、セネガルの家族のための保健プロジェクトの一環として、井戸の建設と野菜の栽培を支援。

第2650地区における
2010-11年度新地区補助金の配分



事例研究

一つの地区で多数のプロジェクト

第2650地区（福井・滋賀・京都・奈良）は、未来の夢試験段階の1年目に、新地区補助金を利用して、45件のプロジェクトを実施しました。総額27万1,700ドルが承認され、2010年7月に支払われると、地区はすぐに、その資金をプロジェクトに配分しました。これらのプロジェクトは、地区リーダーが補助金の使用計画（新地区補助金の申請に必要な書類）を作成した段階で、すでに特定されていたものです。フィリピンの村にコンピューターやミシンなど職業研修に必要な設備を提供したプロジェクト、大地震で被害を受けた中国・山西省の小学校を修繕したプロジェクト、地元学生への奨学金など、地元と海外でさまざまなプロジェクトを実施しました。

新地区補助金の利用におけるヒント

第7930地区（アメリカ・マサチューセッツ州とニューハンプシャー州の一部）ロータリー財団委員長であるジュリア・フェルプス氏は、新地区補助金の利用におけるヒントを、次のように紹介しています。

1

ロータリアンが何を求めているかを知る

- 地区が未来の夢試験地区に選ばれた後、フェル

プス氏は地区内のロータリアンがDDFをどのように利用したいと思っているかについて調査しました。クラブを対象にアンケート調査を実施し、ロータリアンにとって関心のある重点分野やプロジェクト実施地などについて回答してもらいました。この調査を実施したことで、役立つ、そして時には驚くような情報が得られただけでなく、ロータリアンに対して資金配分についての説明を行う際にも役立ったと、彼女は言います。彼女は調査結果を示すだけでよ

いのです。また、透明性というおまけも確保できました。「地区大会、フォーカスグループ、郵便物やアンケートを通じて直接ロータリアンの声を聞くことで、地区内で実施しているプロジェクトが自分たちのものであると、実感してもらえるようになります」とフェルプス氏は話します。

2. 補助金手続きを簡素化する

フェルプス氏と地区ロータリー財団委員会は、新地区補助金の資格要件をグローバル補助金の資格要件と類似させることにより、手続きをよりいっそうシンプルにしました。新地区補助金のプロジェクトも、重点分野に該当し、地域社会に持続可能な影響を与えるものを優先して選びました。「当地区では、より大きな影響を与え、ロータリーの公共イメージを向上させ、地域社会でのロータリ

一の可視性を高めるようなグローバル補助金の要件を、新地区補助金にも適用しました」とフェルプス氏は話します。

3. ロータリアンを教育する

国際ロータリー（RI）は、各クラブから1人が補助金管理セミナーに参加することを要件としていますが、第7930地区ではこの人数を2人に設定しました。その結果、地区内のロータリアンが以前よりも創造性に富み、より影響力の大きなプロジェクトを立案するようになりました。「この新しいモデルの補助金が、地区や世界的なレベルでいかに役立つかを理解するロータリアンが多ければ多いほど、より良い世界を築くための機会が増えるのです」とフェルプス氏は話します。



グローバル補助金

グローバル補助金は、少なくとも1つの重点分野に該当し、持続可能な結果をもたらす大規模で国際的な活動に利用できる補助金です。

グローバル補助金による職業研修チーム	
資金調達	グローバル補助金のプロジェクトは、最低3万ドル以上。人道的プロジェクトや奨学金と組み合わせて実施することもでき、追加のチームを含めることもできる
参加者の年齢	制限なし。重点分野における専門性に基づいて選ばれる
実施期間	制限なし
地区が1年間に支援できるチーム数	制限なし
職業奉仕の機会	研修を受ける、あるいは、提供する
チームの人数	チームリーダー1人（ロータリアンであることが望ましいが、ロータリアン以外も可）および参加者2人
ロータリアンの参加	ロータリアンはチームリーダーとしての役割を果たすだけでなく、研修を提供するチームに参加することが可能（研修提供に必要なスキルを備えている場合）

プロジェクトの例

- ・ニュージーランド出身のクレア・アクマドさんは、第9940地区（ニュージーランド）と第1600地区（オランダ）のデ・ロッテメーレンロータリークラブ（RC）が提唱したグローバル補助金奨学生として、オランダで人権向上を目的とする国際公法を学習。
- ・インドと台湾のロータリアンは、協力団体とともに、インドのブネ近郊で畜牛流通プログラムを開発し、牛の購入や管理・栄養ケアの研修を実施。
- ・フランスとトーゴのプロジェクト提唱者は、トーゴ・クパリメにある小児科保健センターに必要な備品や資材を購入し、公共保健と栄養に関する研修プログラムを設立。
- ・アメリカ・カリフォルニア州とグアテマラのロータリアンは、グアテマラの「Hospitalito Atitlán」病院に新生児のための医療設備を提供し、病院職員に専門的な研修を実施しました。また、病院の待合室で見てもらえるよう、母子の健康、衛生、栄養や病気に関して学ぶDVDを現地の言語で制作。
- ・第1070地区（イギリス）と第9200地区（東アフリカの一部）は、イギリスからの理学療法士と作業療法士を含む職業研修チームをケニア・ティカに派遣し、特別支援学級の教育を専門とする現地の3校の教師に研修を提供。
- ・アメリカ・テキサス州出身のイシス・メジアスさんは、テキサス州とブラジルのロータリアンが提唱したグローバル補助金奨学生として、ブラジルのサンパウロ大学ポリテクニック・スクールで水処理と廃棄物管理について勉強。

事例研究

グローバル補助金職業研修チーム

第5170地区（アメリカ・カリフォルニア州）の2人のロータリアンと6人の医療従事者は、グローバル補助金を利用した職業研修チームを構成し、リベリアのモンロビアにおいて、50人の医師、看護師、家庭を訪問する医療従事者を対象に、1週間に及ぶワークショップを開催しました。このワークショップでは、妊婦への教育を通じてのHIV／エイズの母子感染の予防、母親と新生児の治療、一般の人々に対するHIV／エイズ感染予防に関する情報の提供に焦点が当てられました。モンロビアのシンコーLRC会員は、HIV／エイズに感染した女性や子どもたちに栄養補助食品と、公共診療所への移動手段を提供しました。

持続可能なプロジェクト

モニタリングと評価

明確で測定可能なプロジェクトの目的を定め、プロジェクトに関するデータを集める方法を特定する。大きな変化を与えたことを実証するための基本データを少なくとも3年間、設定する。

資金

長期的な運営、管理、修繕費などを賄うための資金源を現地で確保する。継続的なサービスの提供が行われるように、プロジェクトの参加者に適切な報酬を支払う。

材料とテクノロジー

プロジェクトに必要な備品や新しい技術は、できるだけ現地で調達し、交換用の備品は入手しやすいものにする。備品や技術を選ぶ際には現地の人々に参加してもらい、自分たちで操作や維持管理ができるように研修する。

地域のニーズと強み

現地の価値観や文化に合ったプロジェクトや解決策を特定するために、綿密なニーズ調査を実施してもらう現地の提唱者を見つける。計画段階では、なるべく多くの団体に参加してもらう。

モチベーション

地域社会の人々が、プロジェクトを自分たちのものであると感じられるように準備する。地元住民が、プロジェクトを継続して支援していくような動機づけを提供する。

知識

受益者がプロジェクトの目的を達成できるよう、必要な研修を提供する。また、受益者が将来ほかの人たちを教育できるような知識を備えさせる。



パッケージ・グラント

パッケージ・グラントは、クラブや地区があらかじめ計画されたプロジェクトについて、財団の戦略パートナーとともに実施する機会を提供します。活動資金はすべて国際財団活動資金（WF）と戦略パートナーから拠出されます。その活動は、持続可能性があり、地域社会に大きな影響を与える重点分野に該当するものです。

プロジェクトの機会

戦略パートナー：アガ・カーン大学（AKU）

重点分野：母子の健康

プロジェクト：職業研修チーム

ロータリークラブと地区は、東アフリカ地域にあるアガ・カーン大学の3つのキャンパスのいずれかで、看護を教える教師や地域の保健教育者を研修する職業研修チームを派遣します。チームは、診療所または保健プログラムにおいて奉仕プロジェクトにも参加します。毎年、3件の補助金が提供。

「私は長年、妊婦、女性や5歳未満の子どもたちを支援する方法を探していましたが、なかなか見つけることができませんでした。アガ・カーン大学への奨学金で、地域社会に役立つ人間となり、また、ほかの人たちや団体から問題解決の方法を学ぶ機会を得ることができました」ナンセレコ・ハシファさん（ウガンダ 看護奨学生）

「私の国では、少なくとも30人に1人の女性が命を落としています。亡くなった女性の家族の悲しみや経済的な影響は計り知れません。この奨学金を通じて、地元の題材を使い、地元の奨学生を教育することによって、「母子の健康」と「疾病予防と治療」という2つの分野に取り組んでいます。そこが、範囲の広い他の奨学金とは異なり、興味深い点です」サム・ファロク・ムカサ・カジュビ氏（コロロ・カンパラRC）

プロジェクト：奨学金

ケニア、ウガンダ、タンザニアの看護師がアガ・カーン大学のキャンパスで専門的な看護の勉強をするため、毎年30件までの奨学金が提供されます。これら3国のロータリアンが奨学生を選考し、キャンパスの近くに住むロータリアンがサポートと個人指導を実施。

戦略パートナー：ユネスコ水教育研究所

（UNESCO-IHE）

重点分野：水と衛生

プロジェクト：奨学金

オランダ・デルフトにあるユネスコ水教育研究所において、水と衛生に関する問題を研究するための大学院レベルの留学に対し、毎年8件の奨学金が提供されます。ロータリークラブまたは地区が地元で候補者を選考し、留学期間中の奨学生との連絡を担当します。奨学生が帰国した際は、ロータリアンとともに水関連のプロジェクトを実施します。オランダのロータリアンは、奨学生の留学中、文化紹介やロータリー関連行事への参加手配などを協力。

戦略パートナー：オイコクレジット

重点分野：経済と地域社会の発展

プロジェクト：起業家への研修

ロータリアンは、オイコクレジットのネットワークにある小口融資機関と協力し、現在すでに小口融資を受けている、または、これから受ける可能性のある小規模事業主に対するビジネス・職業スキル研修を立案・実施します。補助金は現在、インド、フィリピン、ウルグアイの地区が、この3国で行うプロジェクトに対して利用でき、毎年4件までが提供。

戦略パートナー：マーシーシップス

重点分野：疾病予防と治療

プロジェクト：職業研修チーム

ロータリークラブと地区は、外科医、看護師、麻酔科医などの医療専門家からなるチームを西アフリカの各地に寄港しているマーシーシップスに派遣し、チームは重要な手術の実施・補助や地元の保健従事者に対する研修を行います。毎年4件までの補助金が提供。

事例研究

アガ・カーン大学を通じた看護奨学金

第9200地区のロータリアンは、アガ・カーン大学とのパッケージ・グラントを利用して、同大学で学ぶ24人の看護学生に奨学金を提供しています。ロータリアンは、同大学の看護学部に入學が許可された学生の中から、奨学生を選考しました。最初の奨学生は2011年から学業を開始し、2014年の初めに卒業する予定です。2012年から学業を開始する2期目の奨学生も、すでに選ばれました。この奨学金では、現在看護の分野で働く看護師がより専門的な研修で学び、学んだ知識をじかに職場で生かすことができます。また、地元のロータリアンは、メンターとして奨学生を支援します。